



寺島しのぶ 常盤 貴子

落井 実結子 (役)
安達 祐実
渡辺 いっけい
東 ちづる
宅麻 伸
春風亭 昇太
辰巳 琢郎
渡辺 梓
窪塚 俊介
山田 邦子
小倉 蒼蛙 (監)

高島 礼子
船越 英一郎

両親は知的障がい者
こんなに豊かな家族の物語

私のかあさんは、知的障がい者でしたが、私にとって最高の母でした

障がい者たちを、ここまで幸福に
生き活きと描いた映画が過去にあったらうか

監督・ゼネラルプロデューサー
山田火砂子
プロデューサー
上野有

わたしのかあさん
-天使の詩-



宅麻伸

小倉蒼蛙(一朗)

辰巳琢郎

東ちづる

渡辺梓

こども家庭庁こども家庭審議会推薦
児童福祉文化財



監督 山田火砂子

映画『わたしのかあさん -天使の詩-』のテーマ

児童福祉文化賞(児童健全育成推進財団選定)受賞の児童文学『わたしの母さん』(菊地澄子作)が原作。小学校4年生の高子が、両親の知的障がいに気づき、葛藤する。「世間の声や目線に押しつぶされ、「恥ずかしい、よその家の子になりたい」と思い詰める...。物語は、障がい者福祉施設園長となった現代の高子(常盤貴子)を取り巻く状況と、1980年代の母・清子(寺島しのぶ)との回想エピソードを中心に展開する。冒頭から、実際に障がいがある子どもたちが自然な姿で登場し、俳優らとにぎやかにかかわる。家族の葛藤のエピソードは、監督自身が知的障がいがある娘を抱え、社会と向き合ってきた、という経験に裏打ちされている。さらに清子の母・秀子のエピソード

や、社会福祉の父・糸賀一雄の足跡も紹介されることで、戦後3世代、4世代にわたり、制度や偏見をこえてきた人々の営みも伝わってくる。「武器よりも福祉にお金を」、「なんで誰も戦争を止めないんだ」など、現代の日本や世界への率直なセリフもためらわず盛り込まれる。認知症、ヤングケアラー、共働き、など様々な社会的課題も意識されるだろう。「善をもって、悪に報いる」。弱さを抱えた小さな家族の前向きな姿が、戦いに満ちた現代世界に一筋の光を見せてくれる。



上映会のお知らせ 各回山田火砂子監督舞台挨拶を予定(開演後、本編上映前)

・開場は各回30分前(予定) ・1回につき~2時間30分程(ご挨拶と映画本編110分ほど) ・🎫は字幕付上映

2024
10/17(木) 横浜市鶴見公会堂
JR京浜東北線「鶴見」駅西口から徒歩1分、京浜急行線「京急鶴見」駅西口から徒歩5分

《開演》①10:30🎫 ②14:00🎫

前売券販売
チケットぴあ(Pコード:554230)

●前売券一般:1,300円 ●当日券一般:1,800円
●障害者手帳をお持ちの方:1,000円 ※製作協力券にても入場可。

チラシ割引 当日一般:1,500円/小学生:800円
※本チラシご持参で5名様まで有効

お問い合わせ

良い映画を観る会 070-8933-5703
現代ぷろだくしょん 03-5332-3991 (平日10時~18時)

e-mail:gendaipro@gendaipro.jp